

県の動き 1

令和4年沖縄全戦没者追悼式



1 沖縄全戦没者追悼式

今年は、本土復帰50年の節目の年であり、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、昨年よりも規模を拡大し、来賓として岸田内閣総理大臣、細田衆議院議長、山東参議院議長をお迎えして、地域代表や遺族会の代表など327人が参列しました。

式典では、追悼のことば、平和宣言、「平和の詩」の朗読や来賓のあいさつ等がありました。

2 追悼のことばと来賓あいさつ

沖縄県遺族連合会の宮城篤正会長は、追悼のことばで、「私達は、今後二度と『戦没者遺族を出さない』という強い信念をもってこれからも活動を続けてまいります。」と述べられました。

また、追悼式典の来賓あいさつの中で、岸田内閣総理大臣は、「戦争の惨禍を二度と繰り返さない。この決然たる誓いを貫き、世界の誰もが平和で心豊かに暮らせる世の中を実現するため不断の努力を重ねていくことを、改めて、み霊にお誓い申し上げます」と述べられました。細田衆議院議長及び山東参議院議長も戦没者の追悼と平和に対する思いを述べられました。

3 平和宣言と平和の詩

玉城知事は、平和宣言において、「慰霊の日に当たり、国籍の区別なく、犠牲になられた全てのみ霊に心から哀悼の誠を捧げるとともに、平和の尊さを正しく次世代に伝え続け、国際平和の実現に貢献し、すべての県民が真に幸福を実感できる平和で豊かな沖縄の実現を目指し、全身全霊で取り組んでいく」ことを宣言しました。

沖縄市立山内小学校2年生の徳元穂菜さんは「こわいをして、へいわがわかった」と題して、77年前の沖縄戦が描かれた絵画を観た時に急に怖くなった経験から「せんそうがこわいからへいわをつかみたい ずっとポケットにいれてもっておいで ぜったいおとさないように なくさないように わすれないように」と平和を守り続けたいという素直な気持ちの詩を朗読しました。



※2ページ「県政フラッシュ」にも関連記事があります。

問い合わせ

保護・援護課 電話:098-866-2428

FAX:098-866-2758

県の動き 2

子どもや女性を性被害等から守るために

1. 県警察の取組

県警察では、性犯罪等の前兆とみられる声かけ、つきまとい等の事案に対する情報分析や捜査を行い、犯人や行為者を特定し、検挙又は指導・警告を行う先制・予防的活動を行っています。

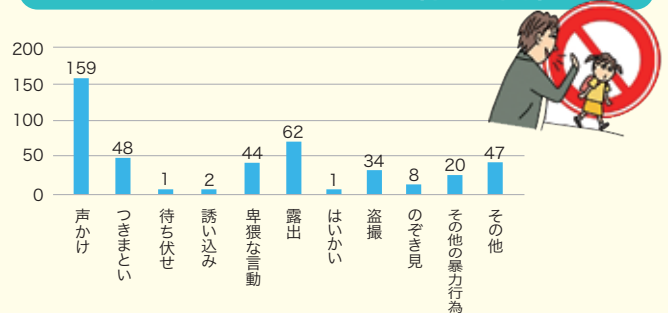
2. 前兆事案の発生状況(令和3年中)

県内では昨年、子どもや女性を対象とした声かけやつきまとい等といった性犯罪等の前兆とみられる事案が426件発生しており、うち193件の行為者を特定し、検挙措置や指導警告を行っています。

前兆事案は、刑法などの法令違反に該当しない場合もありますが、発生件数は年々増加傾向にあり、平成24年の297件から10年間で年間129件増加しています。

性犯罪等の被害を未然に防止するためにも、行為者を早期に特定して指導や警告を行うことが重要です。

前兆事案の行為別発生状況(令和3年中)



3. 県警察からのお願い

声かけやつきまとい等の犯人や行為者を迅速に特定して検挙・警告を行うためには、早期通報が重要です。不審者から声をかけられたり、つきまとい等の被害に遭った場合や不審者に関する情報は、110番通報が最寄りの警察署等へ情報提供して頂くようお願いいたします。



県警ホームページ

問い合わせ

県警察本部人身安全対策課 電話:098-862-0110(代表)